令和5年度後期の児童・保護者アンケートから

〈令和5年度4期 児童アンケート〉

令和5年12月実施

154/162名

A:はい B:どちらかといえばはい C:どちらかといえばいいえ D:いいえ		A	B	C	D	A+B	前回比
①	自分の考えをもち、意見を発表している	70	59	18	7	83.8%	-2.3%
②	話し合い活動に、進んで参加している	84	52	11	7	88.3%	-4.0%
③	自分の思いや考えを、仲間や先生に伝えている	66	58	20	8	81.6%	-2.6%
④	学級で決めたことを、仲間と一緒に取り組んでいる	104	45	2	3	96.8%	0.6%
⑤	学級が楽しくなるように、働きかけをしている(高学年)	20	26	2	5	86.8%	8.8%
⑥	失敗を恐れずやりたいと思うことに、挑戦している	77	56	14	7	86.4%	-4.1%
⑦	学級の仲間のよさを、分かろうとしている。	98	43	7	6	91.6%	-2.7%
⑧	学級の仲間は、自分のよさを分かってくれる	63	61	15	13	81.6%	-6.9%
⑨	自分は仲間の役に立っている	53	72	12	15	82.2%	-5.0%
⑩	自分のことが好き	73	44	17	20	76.0%	-3.8%
⑪	学級が楽しい	98	37	11	7	88.2%	-4.2%
⑫	学校が楽しい	82	52	8	11	87.6%	-3.5%

〈児童アンケートより〉

- ④から、全校の2/3の児童が、様々な活動に積極的に仲間と一緒に取り組んでいると考えられる。
- ①③から、自分の思いを伝えたり発表したりすることに抵抗を感じる子どもが、20%近くいる。
- ⑨から、「はい」と答えられる子どもが1/3程であることから、自己有用感を高める取組を考えたい。
- ⑩から、自分を好きと思わない子が25%近くいることから、自己肯定感を高める取組を考えたい。
- 全体的に3期より下がっている。自分を客観的に見て答えていることが要因の一つだと考えられる。

〈保護者アンケートより〉

- ④⑤⑥から、保護者の皆さんに、学校の取組を理解していただけていると考えられる。
- ⑩から、ほとんどの子どもたちは、保護者の皆さんからよさを認められている。
- ⑨から、子どもたちは、家庭学習に対しての取り組み方が様々であると考えられる。
- ⑭から、数値の低さから、「挑戦」のとらえ方が保護者の皆さんによって様々なことが考えられる。
- 全体的に「はい」と答える保護者さんが少なく、中でも⑨⑭⑱が少ないため、高める取組を考えていく。

令和5年度後期「学校保護者アンケート」にご協力をいただきありがとうございます。今年度も、紙の削減、集計作業の効率化等から、児童・保護者共 web 回答とさせていただきます。保護者さんの回答率が80%と理解が高まってきたと感じています。

今年度も、意図的な「学級経営」の中で、体験的な活動等を進めてきました。そのため、児童アンケート結果は全体的に高いポイントです。ただ、「自信をもって“はい”」と言えるまでには十分達していないことや、自己有用感や自己肯定感がまだ低いことが考えられるため、さらなる改善を進めていきたいと思っております。

保護者アンケートでは、全体的に肯定的な評価でした。150周年をはじめ、様々な活動にご協力くださり、共に子どもたちを育てていくことができたと感じています。しかし、「はい」が少ないことから、子どもたちにつけたい力を絞って、学校と家庭、両方で取り組んでいくことで、より成果が得られると感じます。さらにPTAと連携するなどして、共通理解・共通行動ができるように工夫していきたいと思っております。

〈令和5年度後期 保護者アンケート〉 令和5年12月実施 129/162名 回答率 79.6%

A:よくあてはまる B:あてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない		A	B	C	D	A+B	前回比
①	学校は、めざす学校像「みんなでつくる楽しい学校」に向け、一人一人の個性を大切に、仲間と共に高めあう学校づくりをしている。	40	85	3	1	96.9	0.7
②	学校は、学校報やホームページなどで、活動の意図や子どもたちの様子をわかりやすく伝えている。	28	84	14	2	87.5	-5.6
③	学校は、保護者が連絡や相談したいことについて、丁寧に対応している。	49	70	7	0	94.4	3.0
④	学校は、それぞれの学級で設定した目標の達成に向けて学級づくりをしている。	41	83	3	0	97.6	0.7
⑤	学校は、子ども一人一人の理解に努め、よさを伸ばすことを大切にしている。	45	76	6	0	95.3	2.3
⑥	学校は、いじめなどの問題行動に対して、未然防止や早期発見・早期対応に努めている。	32	95	0	0	100.0	10.9
⑦	学校は、お子さんに基礎的な学力が身に付くよう指導している。	33	86	7	0	94.4	4.5
⑧	お子さんは、安全に気を付けて生活し、いのちを大切にしている。	40	87	2	0	98.4	-0.8
⑨	お子さんは、進んで家庭学習に取り組んでいる。	19	76	28	5	74.2	8.8
⑩	お子さんは、家族の一員として、家庭でお手伝いをしている。	30	75	24	0	81.4	-1.7
⑪	お子さんは、早寝・早起き・朝ごはんをしっかりと食べるなど、規則的な生活リズムで生活している。	43	75	10	1	91.5	3.0
⑫	お子さんは、学校であったことや困りごとなど、保護者に話をしている。	27	88	12	1	89.8	2.2
⑬	お子さんは、家族や地域の人に、あいさつをしている。	29	86	13	1	89.1	1.5
⑭	お子さんは、失敗を恐れずどんなことにも挑戦している。	14	75	40	0	69.0	-3.3
⑮	お子さんは、友達が自分のよさを分かってくれと感じている。	21	99	8	0	93.8	12.2
⑯	お子さんは、ちがう立場や考えを理解し、相手のよさを認めて共に活動している。	25	87	16	0	87.5	3.1
⑰	お子さんは、自分にはよいところがあると感じている。	24	95	9	0	93.0	7.6
⑱	お子さんは、自ら考え、行動している。	18	91	19	0	85.2	1.3
⑲	保護者は、お子さんが安心して学習や生活ができるよう、見届けや声かけをしている。	24	101	4	0	96.9	0.0
⑳	保護者は、お子さんのよさを認めたり励ましたりしている。	35	92	2	0	98.4	2.3

〈令和5年度後期 保護者アンケート「子どもたちの“笑顔”につながるご意見」や改善案〉

- ・「ありがとう」と「ごめんなさい」を素直に言うことが大切だと伝えていきます。
- ・やすらぎの森をもっと活用すると楽しくなると思います！ →様々な場で活用していきます。
- ・苦手なこともあります。先生がそれを認めてくれ、少しでも頑張ろうと思うように導いてくれていることを感じます。それを見ている子どもたちも、苦手だけど頑張っていることを認めてくれています。
- ・持ち物や宿題の確認などをする際に、親が遅い時間まで仕事の時にタブレットの使用可能な時間の制限があると、確認ができない日が多いので、使用できない時間をなくしたり短くしたりしてほしいです。
→見届けありがとうございます。タブレットの使用制限は市全体で考えています。スクリーンショットなどを活用していく方法を考えていきたいと思います。
- ・子どもと関わる大人が笑顔でいることが大切だと思います。
- ・担任の先生がとてもよさを見つけてくださって本人も喜んで頑張る気持ちが高まっております。このまま温かく見守っていただけると私達両親・家族も安心して通わす事が出来るので宜しくお願いします。
- ・通級指導教室もしくはいつでも気軽に行ける個別指導教室（先生か専門スタッフ常駐）のような場所があると、子供ももっと笑顔で学校生活を送れるのではないかと思います。
→一人一人が笑顔でいられるように、相談室の在り方を考えていきます。
- ・良くも悪くも1クラスで5年間すごし、お互いにわかりすぎるくらい分かっているのを感じます。
- ・150周年の行事や色々な方との交流があつて良かったと思えました。子供と親達の参加型の行事が増えるといいです。